

郵送からメールへの切り替えのお願い

「NL」の案内は、郵送料と発送の手間を省くため、メールに切り替え、メールアドレスのあり会員への郵送を中止することを検討しています。

ご意見やご希望を村田にお寄せください。

2017 年度 鉱山研究会 年間行事・予定

■行事回数 ①年次大会・例会 2 回（可能ならば 4 回） ②見学会・巡検 2 回 ③映像の会 2 回 ④海外文献の会（休会中）

■刊行回数 ①「鉱山研究」1 回（2016・2017 年度合併号の予定）

②「ニューズレター」随時（行事確定次第、実施日の約一か月前までに発行）

2017 年

4 月 22 日（土）年次大会・総会 会場：渋谷区立勤労福祉会館 参加者：？人

報告：①金丸 哲也「非鉄資源会社から刊行された会社史」

②村田 淳「宇部炭田・長登銅山巡検報告」

総会 2016 年度運営報告・2017 年度運営計画、2015、2016 年度会計報告・2017 年度会計予算 以上承認。 役員留任。

5 月 27 日（土）NL 臨時号発行（映像の会案内ほか）

6 月 24 日（土）第 47 回映像の会 渋谷区立勤労福祉会館 参加者：？人

「国産エネルギーの担い手ー太平洋炭礦ー」太平洋炭礦制作，1977 年 「生き残りをかけた選択ー北海道 太平洋炭礦・苦悩の一年」NHK 釧路制作，2000 年 藤本幸久監督「闇を掘る」2001 年

8 月 21 日（月）NL106 発行（例会案内ほか、付録・名簿、会計報告）会費請求

9 月 30 日（土）例会 13 時 30 分～16 時 30 分 渋谷区立勤労福祉会館

参加者：9 人

① 村田 淳「スペイン、リナレスの鉛鉱山

——2016 年国際鉱山史会議報告（映像を見ながら）」

② 嶋崎尚子（早稲田大学学術院教授）

「炭鉱閉山と労働者・家族のライフコース」

10月28日（土）～29日（日）鉱山合宿 参加者：5人

諏訪鉄山、金鶏金山、八ヶ岳総合博物館 ほか（長野県）

11月4日（土）NL107号発行（各種案内 ほか）

12月2日（土）第49回映像の会 渋谷区立勤労福祉会館 参加者：？人

「空から日本を見てみよう+（プラス）」BSジャパン

「ニッポンのこころの原風景 空から見た絶景遺産 産業大国ニッポン」

BS朝日、2014年5月25日放送、約97分。

12月末日 会報原稿締切（「鉱山研究」93・94合併号、18年3月末発行の予定）

2018年

1月20日（土）例会 13時30分～16時30分（会場未定）参加者：？人

報告：①長島節五「スエーデン鉱山見学記——映像を見ながら——」

あるいは、村田 淳「2017年度MHAアラスカ大会報告」

②高岡秀俊「アラスカ POGO 金鉱山—日本企業による海外鉱山開発の
成功例—」

2月中旬 NL発行（総会案内、会費請求 ほか）

3月上～中旬（土、日）伊豆巡検 参加者：？人

未定 会報「鉱山研究」93・94合併号発行

4月中旬（土）年次大会・総会（ご意見、報告者募集）会場：未定 参加者：？人

『鉱山研究』原稿募集

予算不足と原稿の不足のため、2016年度分の会誌を発行できませんでした。

あらためて『鉱山研究』に掲載する原稿を募集します。内容は鉱山に関係するものであれば、分野を問いません。お手元にある資料や研究ノートの形式でもかまいません。原稿はできればメールで完成原稿（著者校正無し）を村田にお送りください。完成原稿でない場合は、原則として入力料金がかかります。

なお採否は、編集担当が審査させていただきます。

また原稿1本につき原則として見出し、図版を含めて10ページ以内（1頁1638字×10頁）で、字数は全て文字数に換算すると1,6380字以内です。ただし、長いものは必要があれば数回にわけて掲載することも可能です。

■締切：2017年12月末日、

■発行予定：93号94号と合併号として、2018年3月末の予定です。

■問い合わせ・送り先：村田 淳 〒221-0011 横浜市神奈川区神之木台41-22

Phone ・Fax：045-401-5259 メール：sunao-murata@y8.dion.ne.jp

第 48 回 鉾山の映像を観る会のご案内

丸山もとこ

近年、空撮シーンを多用したテレビのドキュメンタリー番組が増えています。今回はそうした番組で、鉾山や鉾業施設を取り上げたものをいくつかご紹介いたします。前半は、毎週木曜午後 9 時から放送中の「空から日本を見てみよう+（プラス）」からの切り抜きです。鉾山（鉾山跡を含む）や鉾業施設（製錬所や製鉄所）の映像を、過去三年で約 120 分間録画しました。そのうちの半分以上を今回上映します。休憩をはさんで後半は、2014 年に放送された日本の産業遺産を紹介した番組を上映します。女優のミムラさんが、別子と夕張を案内します。皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】 2017 年 12 月 2 日（土） 開場 13:00 上映 13:30～16:30

【会場】 渋谷区立勤労福祉会館（渋谷区神南 1-19-8）2F 第 4 洋室

【会費】 無料

【上映内容】

13:30～14:40 「空から日本を見てみよう+（プラス）」BS ジャパン

過去三年間の放送から編集：池島大島（長崎市），金生山（大垣市），新日鐵住金大分製鉄所（大分市），佐賀関製錬所（大分市），新津久見鉾山（津久見市），紀州鉾山（熊野市），生野鉾山（朝来市），直島製錬所（香川県直島町），白滝鉾山（高知県大川村），秋田製錬（秋田市），柵原鉾山（岡山県美咲町），藤原鉾山（いなべ市）。

14:40～14:50 休憩

14:50～16:30 「ニッポンのこころの原風景 空から見た絶景遺産 産業大国ニッポン」，BS 朝日，2014 年 5 月 25 日放送，約 97 分。

16:30～ 会からのお知らせ，情報交換

※上映の順番や内容を予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ご意見ご要望のある方は、丸山 <jmrs.eizonokai@gmail.com> にご連絡ください。

例会案内

高岡秀俊さんが報告する、ポゴ鉱山は、アラスカ州第2の都市フェアバンクスから車で約3時間の地にあり、日本企業（住友金属鉱山、住友商事）が探鉱段階から参画し、開発に成功、現在も操業中の金鉱山です。2011年11月に公表されたポゴ埋蔵鉱量は、1233万t、平均品位12.5g/tAu、含有金量155tであり、佐渡鉱山と鴻之舞鉱山を合わせた位の埋蔵金量を有する大型高品位金鉱山です。

ポゴ金鉱床は幸運にも1994年夏に開始した試錐探鉱の初孔により発見されました。しかしその後のアラスカでの鉱山開発の道程には、多くの困難がありました。道路が無いポゴ鉱山への重機の搬送路となるウィンター・ロードの造成、そして環境に配慮した鉱山の設計。アラスカは大自然の宝庫であることから、最高レベルの環境対策が求められました。こういった問題を一つ一つクリアし、鉱床発見から12年後の2006年、ポゴ鉱山は操業を開始しました。当初、ポゴ鉱山の操業は、同州でRed Dog鉱山の開発・操業実績を有するテック社と共同で行っていましたが、2009年7月テック社権益を買収し日本企業のみによる海外鉱山の運営が実現し現在に至っています。

高岡さんは住友金属鉱山（株）のVancouver駐在員として、1991年-1997年ポゴ探鉱を主導し、開発計画や環境許認可にも参画、その業績にに対し1998年日本鉱業協会賞を受賞しています。

長島節五「スウェーデン鉱山見学記——映像を見ながら——」（仮題）

あるいは、村田 淳「2017年度MHAアラスカ大会報告」

■報告：①長島節五「スウェーデン鉱山見学記——映像を見ながら——」

あるいは、村田 淳「2017年度MHAアラスカ大会報告」

②高岡秀俊「アラスカ POGO 金鉱山——日本企業による海外鉱山開発の成功例——」

（どちらが先にするかは、その日の様子で変えることがあります。）

■日時：2018年1月20日（土）13時30分～17時

■会場：渋谷区立勤労福祉会館（渋谷区神南1-19-8）（予定）

■問合せ先：村田 淳 電話：045-401-5259

*会場が決まりしだいお知らせします。また、長島節五か村田淳かどちらが行なうかについては、決まり次第お知らせしますが、その場合、メールのみの案内になることがあります。

次回 MHA(アメリカ鉱山史協会)の年次大会

サウスダコタ州、デッドウッドで2018年6月7日～10日の予定です。1876年のゴールドラッシュの時期に成立した鉱山街で、西部劇でおなじみのカラミティ・ジェーンが闊歩し、ワイルド・ビル・ヒコックが殺害されたことでよく知られています。

のちにスーインデアンに全滅させられたカスター将軍が金を発見して、彼らを一掃しようと思いついたところでもあり、周辺にたくさんの金鉱山街がありました。

次回 IMHC(国際鉱山史会議) 開催地決定

カナダ在住の Jeremy Mouat の尽力により、カナダ、オンタリオ州、Sudbury にあるニッケル・銅鉱山に決定しました。日程は来年中になる見込み。

この鉱山は正マグマ系鉱床で熔離鉱床の典型的なサドベリー型鉱床といわれている。カナディアンパシフィック鉄道建設時に発見された。バンクーバーとトロントを結ぶ VIA の車窓からみられる。この鉄道はカナディアンロッキーを横切り素晴らしい眺めが見られます。乗ってみたいいかがですか。

当会ホームページをぜひご活用ください

丸山もとこ

当会はネット上にホームページを開設しています（アドレスは下記参照）。

そこでは、ニューズレター・会誌、例会・大会、見学会・巡検、映像の会、読書会などの最新情報を掲載しています。

さらに「情報交換 BBS」では、当会以外の鉱山関連のイベント（企画展、シンポジウム、講演会、新刊本、ツアーなど）の情報を紹介しています（アドレスは下記参照）。逆に、個々の会員が「情報交換 BBS」を使って情報発信したり、記事にコメントをつけたりすることも可能です。情報（但し鉱山関連に限る）を発信したい方、記事にコメントをつけたい方は、下記連絡先までご連絡ください。

記事の投稿方法についてお教えします。あるいは投稿したい内容をメールで下記連絡先までお送りいただければ、管理人が代わりに投稿することも可能です。

ぜひ当会ホームページをご活用ください。

【鉱山研究会ホームページ】 <http://www.jmrs.sakura.ne.jp/>

【情報交換 BBS】 <http://www.jmrs.sakura.ne.jp/member/>

【連絡先】 jmrs.hp@gmail.com

入 会 案 内

「鉱山研究会」は、1973 年 11 月に創立した、国内外の鉱山および炭礦と鉱山に関係する事柄の歴史や現状についての研究を目的とする団体です。

会報『鉱山研究』や『ニューズレター』の発行、研究大会、例会、鉱山の映像の会、読書会や鉱山地域の合宿や巡検などを行っています。

入会資格は特にありません。分野を問わず鉱山に興味がある人でしたらだれでも歓迎します。入会希望者は、以下の宛先に入会を希望することを連絡してから、入会金なしで年会費（2016 年度 6000 円）を送金してください。

郵便振替 00140-0-540969 金属鉱山研究会

連絡先 : 村田 淳 phone/fax: (045) 401-5259

221-0011 横浜市神奈川区神之木台 41-22

e-mail : sunao-murata@y8.dion.ne.jp

例会報告者の募集

例会で報告していただける方を募集しています。

例会の報告の持ち時間は、研究大会が報告 20 分質疑応答 10 分に比べ、報告約 1 時間、質疑応答 30 分と十分に時間があり、じっくりとまとまった報告が可能です。

テーマは鉱山に関係があるものであればかまいません。金属鉱山、石炭鉱山、経済史、民俗、労働史、労働運動、あるいは鉱物、鉱床など様々な分野からの報告が会員の研究に役立つでしょう。

報告は非会員でもかまいません。報告してほしいテーマや人物があれば、お知らせください。

*問い合わせ、申し込みあるいは情報などを、村田淳あるいは役員に。